

代理トラウマ①

- ▶ MccannとPearlmanにより概念化、PearlmanとSaakvitneによって逆転移とは異なるものとして詳述された
- ▶ 逆転移：①治療者のもつクライアントへの、またクライアントのもつ臨床的な素材へのあるいは転移や再演への、感情、思考、身体への反応②感情、精神内界における葛藤、それらによって喚起された連合への治療者への意識的無意識的防衛

代理トラウマ②

- ▶ 「クライアントの外傷的な素材に対して治療者が共感的な関わりをもつことによって生じる治療者の内面的な経験における変化」
- ▶ 「代理トラウマは（逆転移のようなある関係のなかで生じる状態ではなく、セラピストの内面でおきる）プロセスである」
- ▶ （セラピストが）「人が行う他の人への拷問や屈辱や復讐について繰り返し聞くことによって育つ激しい怒り、憤りと悲嘆の反応、またそのような反応に引き続いて生じる悲しみ、麻痺、深い喪失の感覚」
- ▶ クライエントの自己破壊や被害の再演を目撃することで促進される

代理トラウマ③

- ▶ 代理トラウマによってセラピストの世界観、アイデンティティは変化する
- ▶ セラピストは深刻になり、冷笑的になり、暴力に敏感になり、人間性に対して悲嘆や絶望を抱きやすくなる
- ▶ 代理トラウマはセラピスト自身がよく生きて、愛して、働き、遊び、創造することを阻害する
- ▶ バーンアウトにつながることで、自己有能感を失わせることによって、また「スピリチュアルな損害であるモラル喪失や魂の寂寥」をもたらすことで仕事の中断につながることもある

バーンアウト

- ▶ 欲求不満、無力感および目標達成に関する無能力感の結果
- ▶ 身体的な覚醒症状と心身の疲労状態として現れる
- ▶ 例：心身共に疲れているのに睡眠障害、頭痛、焦燥、攻撃などが起きる
- ▶ 鈍感さ、悲観、冷笑、職場における対人関係の問題、仕事の能率の低下なども含まれる
- ▶ 職場における上下関係緊張や無理解からもたらされる